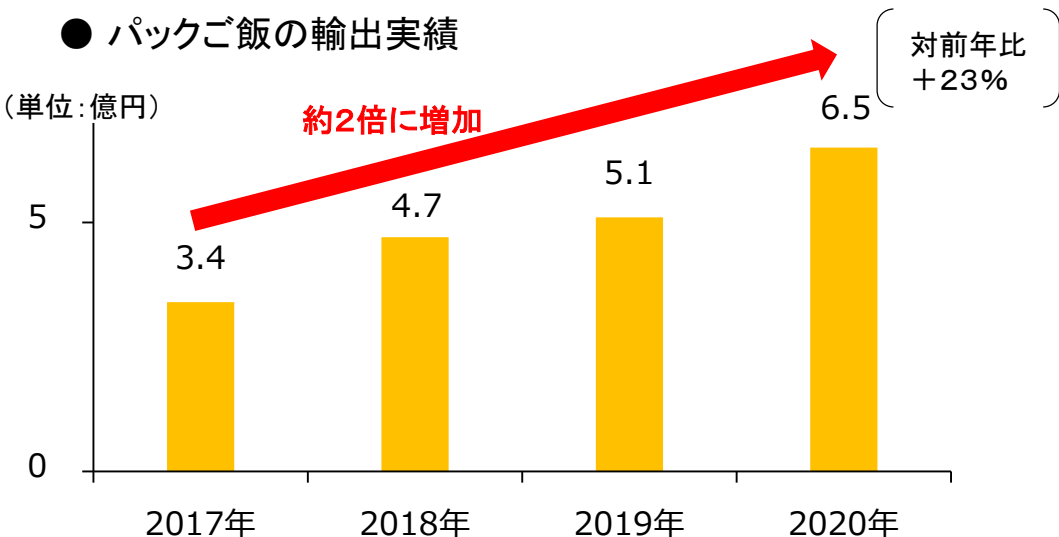


パックご飯・米粉及び米粉の輸出実績の推移

- パックご飯の輸出についても、2020年は、香港・台湾向けが大きく増加したほか、最大の輸出先国であるアメリカ向けも微増。全体の輸出金額・輸出量はともに増加。
- 米粉はアメリカ向け輸出が大幅に増加しており、全体の輸出金額・輸出量も増加。

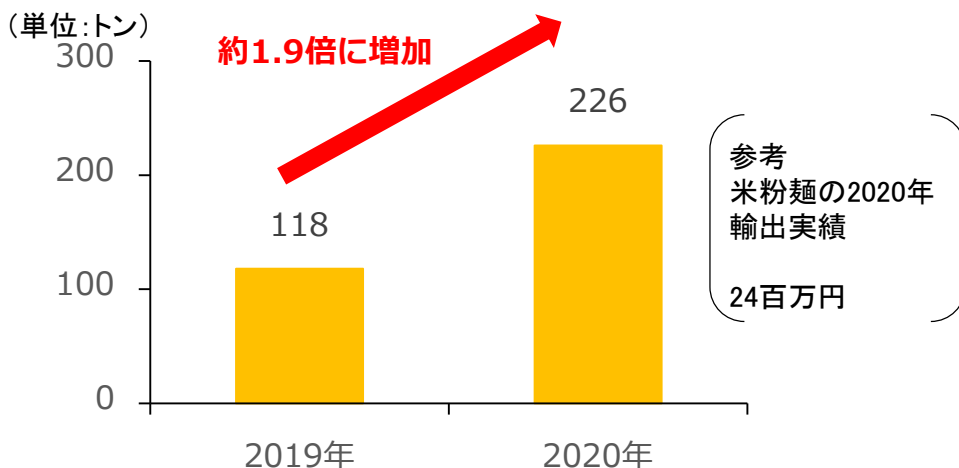
● パックご飯の輸出実績

(単位:億円)

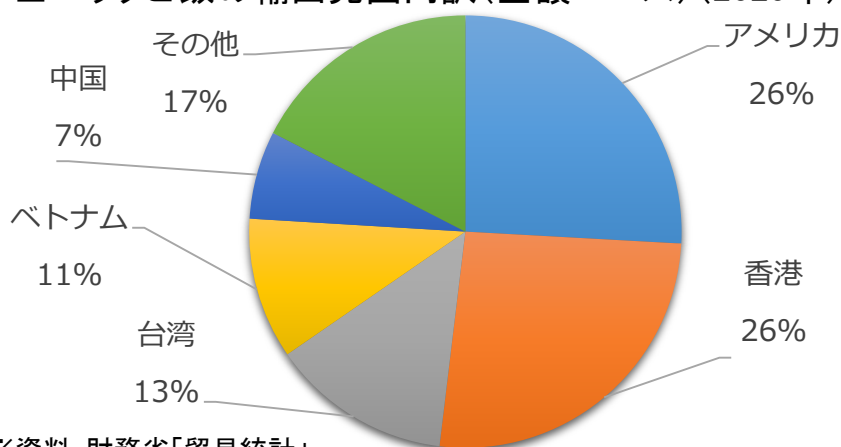


● 米粉の輸出実績

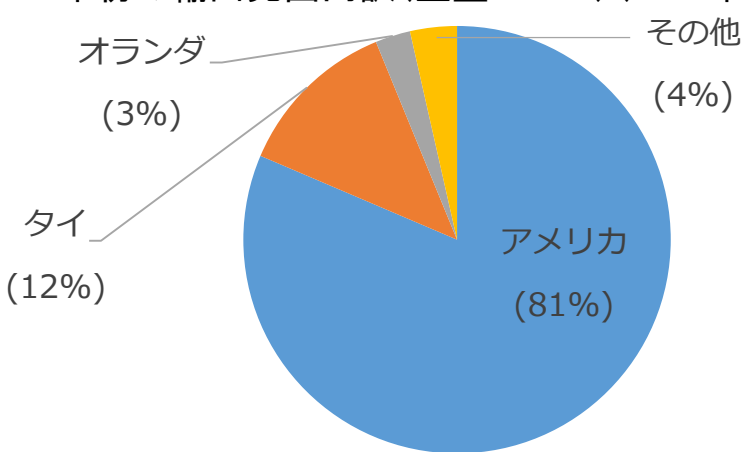
(単位:トン)



■ パックご飯の輸出先国内訳(金額ベース)(2020年)



■ 米粉の輸出先国内訳(重量ベース)(2020年)



※資料:財務省「貿易統計」

(注)パックご飯等は2017年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。米粉の輸出実績は2019年より、米粉麺は2020年より貿易統計にて集計・公表。

全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会(全米輸)の概要

- コメ・コメ関連食品の海外需要の開拓・拡大のため、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体(全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会(全米輸))を平成26年11月27日に立ち上げ。
- 全米輸には米卸・輸出事業者のほか、産地側である全農・ホクレンも会員として参加。これまで、海外見本市への出展、PRイベントの開催や輸出先国の規制、マーケット情報の収集・発信、広報素材の作成等に取り組んできたところ。

団体名	一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（略称：全米輸）		
設立日	平成26年11月27日		
目 的	コメ・コメ関連食品の海外需要の開拓・拡大のため、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する。		
会員数	48	米卸・輸出事業者：15（全農インターナショナル、神明、木徳神糧、名古屋食糧、千田みずほ、東洋ライス等） 全国団体等：2（全米販、全米菓） 生産者団体：7（全農、ホクレン、JAごしょつがる等） 蔵元等：16 米菓メーカー：4 その他：4	
理 事	理事長 専務理事 理事	木村 良（木徳神糧(株)会長、全米販理事長） 細田 浩之（元三井物産(株)） 千田 法久（千田みずほ(株) 代表取締役社長） 山田 智基（木徳神糧(株) 取締役執行役員 営業本部海外事業事業統括） 松永 將義（白鶴酒造(株) 執行役員 海外事業部長） 森脇 暁（(株)神明 取締役 グループ商品本部 副本部長 兼 米穀部長 兼 農産部長） 住吉 弘匡（全国農業協同組合連合会 輸出対策部長）	

全米輸におけるこれまでの海外需要開拓の取組

香港高級中華料理店での日本産米を使用したメニューフェアの実施（2019年9月～10月）

日本秋祭りのタイミングに合わせて、香港の高級中華料理店（7店舗）において、日本産米を使用したメニューフェアを1ヶ月間実施。

フェアに先立ち、9月17日（火）に開催したメディア向け試食会には多くの現地メディアが参加し、当試食会の様子や日本産米メニューフェアについて、多くのメディアに取り上げられた。



第2回中国国際輸入博覧会（上海）（2019年11月）

中国国際輸入博覧会（C I I E）は「輸入」をテーマに開催される同国最大級の総合見本市。全米輸はジェットロが設置したジャパンパビリオン内にプロモーションブースを出展、日本産米を使用したメニュー等によるPRを実施。併せて会員である全農、神明、板橋貿易、木徳神糧等が日本産米を出品し、商談を実施。数社が、COFCOや中国大手小売グループと今後の輸出計画の覚書を締結。



輸出事業者のブース

日本産コメ・コメ加工品輸出ハンドブックの作成（発行：2017年3月、更新：2020年3月）

コメ・コメ加工品の輸出拡大に向けて、輸出先国・地域別の情報（市場の特性やコメ消費の傾向、流通、規制、現地におけるコメ・コメ加工品の販売価格等）についてまとめたハンドブックを作成、公表。

2017年3月当初は15カ国であったが、2020年3月の更新時には2カ国を追加。



コメ・コメ関連食品の輸出拡大に向けた取組

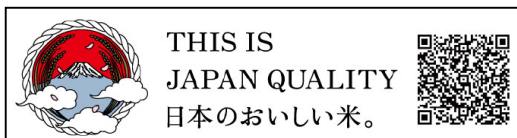
○ コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体(全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会)を平成26年11月27日に立ち上げ。

○ 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会は、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

(1) 日本産品であることの識別を容易にし、その品質等を海外の消費者にアピールするため、日本産米・米加工品輸出の統一ロゴマークを開発し、国内で発表(平成27年3月13日)。(農林水産大臣出席、国内メディア約30社が参加)

ロゴマークと併せてQRコードを表示し、日本産米に関する映像コンテンツを含むWEBページにリンクさせることにより、日本産米の良さを映像でPRする仕組みを構築。

〈 日本産米輸出の統一ロゴマーク 〉



(注) QRコードから、日本産米・米加工品のPR映像が流れるHPへリンク

(2) 海外においても、統一ロゴマークを用いて、日本産米・米関連食品のPRイベントを開催。

- ① 米国 日本酒のPR・商談会(2018年4月30日～5月3日)
- ② 香港 日本産米・パックご飯・日本酒・米菓のPR(2018年8月16日～18日)
- ③ シンガポール 米菓のPR・セミナー(2018年10月19日～21日)
- ④ 上海 日本産米・パックご飯・日本酒・米菓のPR(2018年11月5日～10日)
- ⑤ 香港 日本産米のPR・セミナー(2018年12月10日)
- ⑥ 北京 日本酒のPR・セミナー(2019年1月17日)
- ⑦ 中国 パックご飯・米菓・日本酒のPR(2019年1月～3月)
- ⑧ 米国 日本酒のPR・セミナー・商談会(2019年2月23日～3月2日)
- ⑨ 中国 パックご飯のPR(2019年6月～7月)
- ⑩ 北京 日本酒のPR(2019年7月19日～21日)
- ⑪ 香港 日本産米のPR(2019年9月～10月)
- ⑫ 上海 日本産米の商談会(2019年11月5日～10日)
- ⑬ マカオ 日本種のPR・商談会(2019年12月18日～21日)
- ⑭ 北米 米菓のPR・商談会(2020年1月18日～25日)

香港高級中華料理店での日本産米を使用したメニューフェアの実施
(2019年9月30日～10月31日)

香港の高級中華料理店(7店舗)において、当地で著名なシェフの考案による日本産米を使用したメニューフェアを実施。フェアに先立ち、9月17日に開催したメディア試食会には11社の現地メディアが参加。



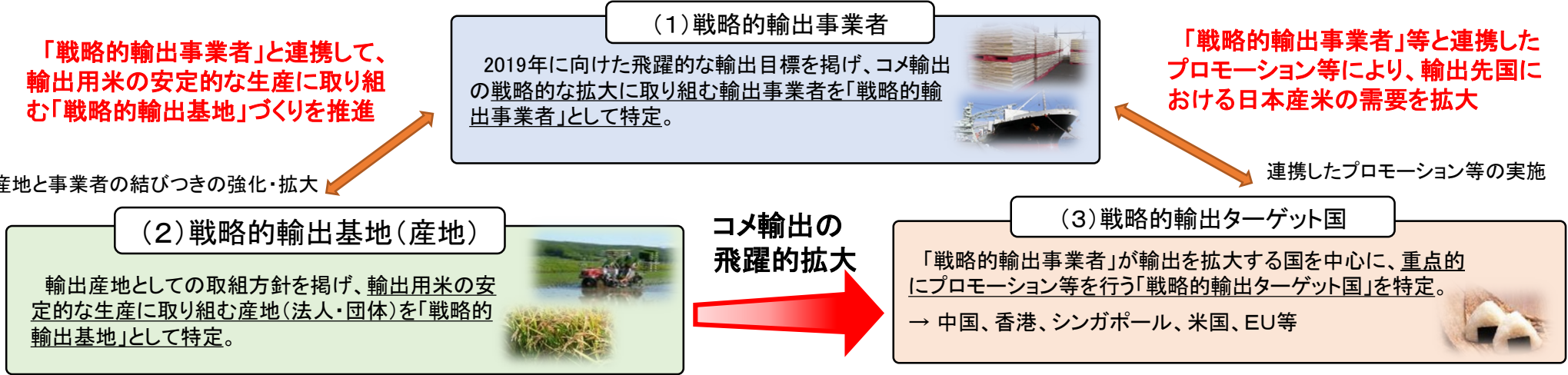
春節向け日本産包装米飯およびコメ加工品ギフト品評会の実施(2020年9月23日(上海)・25日(北京))

中国の大手百貨店等のバイヤー(上海・北京の2会場:約60名)に対し、日本産包装米飯や日本酒・米菓等を組み合わせた春節需要向けギフトボックスを試食等によりPR。バイヤーからは日本産米や日本酒の美味しさを評価する声が聞かれ、今後は契約に向け引き続き商談を実施。



コメ海外市場拡大戦略プロジェクト（KKP）について

○ コメの輸出量を飛躍的に拡大するため、平成29年9月に「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト（KKP）」を立ち上げ。戦略的に輸出に取り組む関係者を「戦略的輸出事業者」「戦略的輸出基地（産地）」として特定し、それらが連携した取組を強力に後押ししてきたところ。



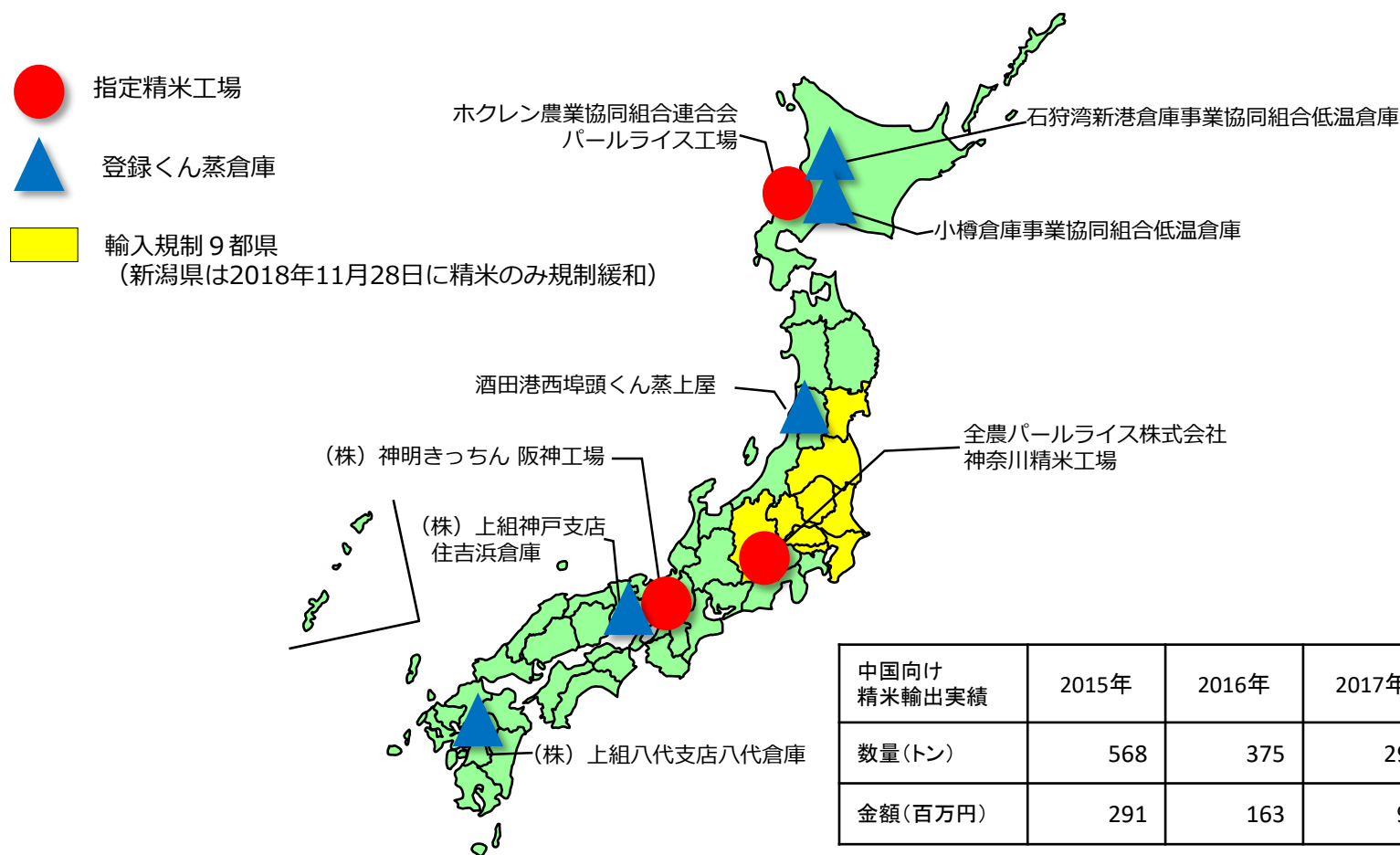
戦略的輸出事業者参加状況(2020年12月30日時点)		
74事業者(目標数量合計:14万トン※)		
○ 主な戦略的輸出事業者(輸出目標上位5事業者を抜粋)		
戦略的輸出事業者	輸出目標	重点国・地域
(株)神明	30,000トン	香港、中国
木徳神糧(株)	30,000トン	中国、台湾、タイ、ベトナム等
JA全農	20,000トン	中国、シンガポール、他アジア、中東、EU、米国等
(株)Wakka Japan	15,000トン	香港、シンガポール、台湾、ハワイ、米国本土、タイ、中国
全農パールライス(株)	10,000トン	中国、台湾、ヨーロッパ、米国、香港、シンガポール、タイ、ロシア等

※ 輸出事業者の目標の積み上げであり、重複して計上される場合もある。
※ 米菓・日本酒等の原料米換算分を含む。

戦略的輸出基地（産地）参加状況(2020年12月30日時点)			
(1) 団体・法人 255産地			
(2) 都道府県単位の集荷団体等 21団体(JA全農県本部、経済連)			
((1)以外の産地も含めた取組を推進する都道府県単位の団体等)			
(3) 全国単位の集荷団体等 1団体(JA全農)			
((1)、(2)以外の産地も含めた取組を推進する全国単位の団体等)			
○ 主な戦略的輸出基地(平成30年産輸出実績(見込み)上位5産地を抜粋)			
【団体】		【農業法人】	
都道府県	戦略的輸出基地	都道府県	戦略的輸出基地
新潟県	JAグループ新潟 米輸出推進協議会	新潟県	株式会社新潟農商
宮城県	JAみやぎ登米	新潟県	新・新潟米ネットワーク
富山県	JAみな穂	茨城県	茨城県産 米輸出推進協議会
岩手県	JA岩手ふるさと	山形県	(株)庄内こめ工房
秋田県	JA秋田おばこ	北海道	(株)シヨクレン北海道

(参考) 中国向けコメ輸出の状況

- 中国向けに精米を輸出するためには、指定精米工場における精米及び登録くん蒸倉庫におけるくん蒸が必要。
- 現在、指定精米工場は3か所、登録くん蒸倉庫は5か所。(2018年5月の日中首脳会談後、精米工場2施設及びくん蒸倉庫5施設が追加。)
- また、福島第一原子力発電所事故により、9都県産米の輸出が停止。(2018年11月に、新潟県産の精米の規制のみ緩和。)



中国向け 精米輸出実績	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
数量(トン)	568	375	298	524	1,007	1,002
金額(百万円)	291	163	97	211	363	321